



# こんにちはは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第589号  
2023年4月24日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 76回目の憲法記念日を迎えるにあたって

憲法記念日は、76年前の5月3日、1947年に日本国憲法が施行されたことを祝うために、国民の祝日として制定されました。

日本国憲法と聞いてピンと来ない方は意外と多いのではないのでしょうか？日本共産党八千代市議団では、市民一人ひとりの権利を守る時など、日本国憲法に沿った考え方で議会などでも訴え続けています。

憲法記念日を迎えるにあたって、あらためて日本国憲法と平和、人権などについて考えてみませんか。



### 平和憲法と呼ばれる「日本国憲法」とは？

日本国憲法は、前文と11章で分けられた103の条文で構成されています。

平和憲法と言われる日本国憲法は、78年前までの戦争による経験と反省から、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」という文章で始まっているとおり、主権は国民であって、政府によって戦争が起らないようにすることから始まり、第9条では「戦争の放棄」とまで記載されていることから人々からは「平和憲法」と呼ばれています。

※日本国憲法の前文は裏面に掲載しています。

### 憲法の平和的生存権、義務教育は無償など

日本共産党八千代市議団は、八千代市議会でも日本国憲法を引用し、権利を守っています。例として議会議事録から主な発言内容を掲載させていただきます。

#### ● 2022年6月議会（堀口明子議員による議会質問の冒頭文）

「誰もが安心して暮らせるように、紛争は武力ではなく外交で解決できる世界を求めていくとともに、憲法9条を生かした政治こそ、政府の大事な役割として日本共産党は訴え、地方議会でも求めていきたいと思えます。」

#### ● 2022年11月議会（伊原忠議員による「学校給食の無償化を求める請願」の賛成討論）

「…子育て世代の教育費が物価高騰と消費税の上昇でますます苦しくなっている下で、この請願は憲法第26条の義務教育は無償とするという権利を保障する…」

#### ● 2021年12月議会（飯川英樹議員による土地利用規制法についての議会質問）

「…憲法第13条のような私生活上の事柄をみだりに公開されない権利、いわゆるプライバシー権など、憲法問題になりかねなくなると思いますが、市の認識をお聞かせください。」

### 日本国憲法とともに暮らし最優先の市政に！

日本共産党八千代市議団は、だれ一人残さずに、暮らしと安全を守るために、日本国憲法に則って、引き続き求めていきます。

裏面に日本国憲法の前文を掲載→

# 日本国憲法

昭和21年11月3日公布

昭和22年5月3日施行

(前文)

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

※衆議院ホームページからの転用